

平成 27 年 9 月 10 日
株式会社 ミライト・ホールディングス

【(株)ミライト】

**江東区の豊洲グリーン・エコアイランド構想に基づく、今後のまちづくりを見据えた
「H27 年度超小型モビリティ実運用調査」へ参画**

当社のグループ会社である株式会社ミライト(本社:東京都江東区、代表取締役社長:鈴木正俊、以下ミライト)は、江東区、日産自動車株式会社が実施主体として行う、「H27 年度超小型モビリティ実運用調査」へ参画し、超小型モビリティ利活用方法等の検討を開始します。

【目的】

本調査は、江東区豊洲グリーン・エコアイランド構想に基づくエコモビリティ利活用環境整備に向けての啓発・周知、並びに今後のまちづくりを見据えた、超小型モビリティ(電気自動車)の利活用方法等の検討・施策立案のための知見やデータの蓄積を目的とします。

【取組み】

ミライトでは、東京 23 区内事業所間移動等の 2 名以下の近距離移動に超小型モビリティを新たな交通手段として利活用し、CO2 削減による低炭素社会の実現に取り組むとともに、車両貸出システム・GPSによる運行データ・アンケート結果の分析により、カーシェアリング等、今後の事業検討の為のデータ蓄積を行います。

ミライトグループでは、今後も全国各地での EV 充電器の設置工事業を強力に進めるとともに、超小型モビリティの利活用により、省エネルギー社会の実現に貢献していきます。

<ご参考>

・超小型モビリティとは

交通の抜本的な省エネルギー化に資するとともに、高齢者を含むあらゆる世代に新たな地域の手軽な移動手段を提供し、生活・移動の質の向上をもたらす、省エネ・少子高齢化時代の「新たなカテゴリー」の乗り物であり、「自動車よりコンパクトで、地域の手軽な移動手段となる 1 人から 2 人乗り程度の車両」と定義される。(国土交通省「超小型モビリティの導入促進」<http://www.mlit.go.jp/common/000986236.pdf>を加工)

・超小型モビリティの導入意義

「クルマづくり」、「まちづくり」「ひとづくり(ライフスタイル)」のあらゆる面について、革新的なアイデアや、これらの調和的な進化をもたらす将来ビジョンとして、自動車よりコンパクトで小回りが利き、環境性能に優れ、地域の手軽な移動手段となる 1 人から 2 人乗り程度の車両を提案し、導入・普及を促進することによって、CO2 の削減のみならず、観光・地域振興、公共交通を補完する新たな交通手段の提供、高齢者や子育て世代の移動支援など、多くの副次的便益が期待されている。(国土交通省「超小型モビリティの導入の手引き」http://www.tb.mlit.go.jp/kanto/jidou_gian/date/dounyu_tebiki.pdfを加工)

なお、「H27 年度超小型モビリティ実運用調査」の概要は別紙の通りです。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ミライト
EV 充電システムビジネス推進部
TEL:03-6807-3158
E-Mail:jisedai-ev@mirait.co.jp

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】

株式会社ミライト・ホールディングス
広報室
TEL: 03-6807-3120
URL: <http://www.mirait.co.jp/>

<別紙>

株式会社ミライト「H27年度超小型モビリティ実運用調査」の概要

期 間： 平成 27 年 7 月 14 日～平成 28 年 3 月 25 日

実施地域： 江東区を中心とする東京 23 区内(当面は江東区限定とする)

車 両： 日産ニューモビリティコンセプト 計 5 台
・リチウムイオン電池を搭載した電気自動車
・200V 普通充電(コンセント)4 時間充電、約 100km 走行可能
・全長:234cm、全幅:123cm、全高:145cm、車両重量:500kg、乗車定員:2 名

車両配置： ●本社ビル(豊洲) 2 台配置 (200V 普通充電器 2 基設置)
所在地:東京都江東区豊洲 5-6-36 SIA 豊洲プライムスクエア

●ミライト新木場ビル 2 台配置 (200V 普通充電器 2 基設置)
所在地:東京都江東区新木場 2-15-20

●ミライト枝川ビル 1 台配置 (200V 普通充電器 1 基設置)
所在地:東京都江東区枝川 2-8-4

利用者： ミライトの従業員

